

平成27年12月21日

「利根川下流（稲敷地方広域市町村圏事務組合区間）共同点検」を実施します

先般の平成27年9月関東・東北豪雨では、全国各地において浸水被害が発生しており、とりわけ、鬼怒川においては堤防が決壊し、甚大な被害が生じました。今回の水害を受けて、国土交通省においては、「避難を促す緊急行動（別紙2）」に取り組んでいるところです。

これを踏まえ、利根川下流河川事務所では、管内の洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所）の共同点検として、「利根川下流（稲敷地方広域市町村圏事務組合区間）共同点検」を下記により実施いたします。

記

開催日時； 平成27年12月24日 13時30分

集合場所（概要説明）；利根町役場 1階 多目的ホール（別紙1）

現地点検（徒歩移動）；利根川左岸76.75k付近堤防（重要水防箇所）

参加予定者；近隣自治会、稲敷地方広域市町村圏事務組合（水防団）、稲敷市、河内町、利根町、龍ヶ崎市、茨城県竜ヶ崎工事事務所、利根川下流河川事務所

行程および開催場所；別紙1をご覧ください

別紙 1

利根川下流共同点検行程

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 概要説明 | 13:30~14:00 |
| 2. 共同点検 (徒歩) | 14:15~14:45 |

集合場所位置図



平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて「避難を促す緊急行動」

被災した場合に大きな被害が想定される国管理河川において以下を実施。

1. 首長を支援する緊急行動

～市町村長が避難の時期・区域を適切に判断するための支援～

【できるだけ早期に実施】

● トップセミナー等の開催

洪水予報、ホットラインなど出水時に河川管理者から提供される情報とその対応等を首長と確認

● 水害対応チェックリストの作成、周知

出水時に河川管理者から提供される情報に対し各地方公共団体が行うべき事項を整理した水害対応チェックリストを作成、周知

● 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知

流下能力が低い区間や過去に漏水があった箇所など洪水に対しリスクが高い区間(堤防必要延長約 13,000km のうち 2 割程度)の共同点検を事務所、地方公共団体、自治会等で実施し、情報共有。あわせて住民まで周知

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

● 氾濫シミュレーションの公表

決壊すれば甚大な被害が発生する恐れがある河川（約 70 水系）について、決壊地点を想定した時系列の氾濫シミュレーションを公表

● 避難のためのタイムラインの整備

決壊すれば甚大な被害が発生する恐れがある河川の堤防沿いの地方公共団体（約 280 市町村）を対象に、避難のためのタイムラインを整備

● 洪水予報文、伝達手法の改善

発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法へ改善

● 市町村へのリアルタイム情報の充実

新たにライブ画像を提供し、河川水位、レーダー雨量等の情報とあわせて市町村ごとにリアルタイムに河川情報を把握できるようシステムを改良